

平成29年度 まちの 決算 の状況

■歳入歳出決算額

○一般会計・特別会計の状況

平成29年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額94億6,444万円に対し、歳出総額87億4,393万円で、歳入歳出差引額は7億2,051万円（実質収支等は6億5,043万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額が3億2,842万円（3.4%）の減となった一方、歳出総額は前年度と比較して1億7,877万円（2.1%）の増となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	52億7,361万円	78億7,204万円	72億3,176万円	6億4,028万円
特別会計	14億7,706万円	15億9,240万円	15億1,217万円	8,023万円
国民健康保険事業	12億0,353万円	13億1,138万円	12億4,548万円	6,590万円
農業集落排水事業	2億0,427万円	2億0,805万円	1億9,719万円	1,086万円
後期高齢者医療事業	6,926万円	7,297万円	6,950万円	347万円
合計	67億5,067万円	94億6,444万円	87億4,393万円	7億2,051万円

○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		平成29年度決算額 (構成比率)	歳出項目		平成29年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	4億7,807万円 (6.1%)	義務的経費	人件費	7億9,182万円 (11.0%)
	諸収入	3億4,434万円 (4.4%)		公債費	5億8,991万円 (8.2%)
	分担金及び負担金	5,221万円 (0.7%)		扶助費	5億5,815万円 (7.7%)
	繰入金	4,239万円 (0.5%)	投資的経費	普通建設事業費 (補助)	7億1,165万円 (9.8%)
	その他の自主財源	13億1,873万円 (16.7%)		普通建設事業費 (単独)	5億3,824万円 (7.5%)
依存財源	地方交付税	32億5,877万円 (41.4%)	災害復旧事業	5億1,422万円 (7.1%)	
	町債	9億6,861万円 (12.3%)	その他の経費	補助費等	14億2,910万円 (19.7%)
	国庫支出金	6億3,090万円 (8.0%)		物件費	8億2,659万円 (11.4%)
	県支出金	5億7,665万円 (7.3%)		繰出金	4億9,380万円 (6.8%)
	地方譲与税	7,904万円 (1.0%)		その他の経費	7億7,828万円 (10.8%)
	その他の依存財源	1億2,233万円 (1.6%)		合計	72億3,176万円 (100.0%)
合計	78億7,204万円 (100.0%)				

○企業会計

病院事業会計は総収益 10 億 7,383 万円に対し、総費用が 10 億 1,679 万円となり、純利益 5,704 万円を計上しました。

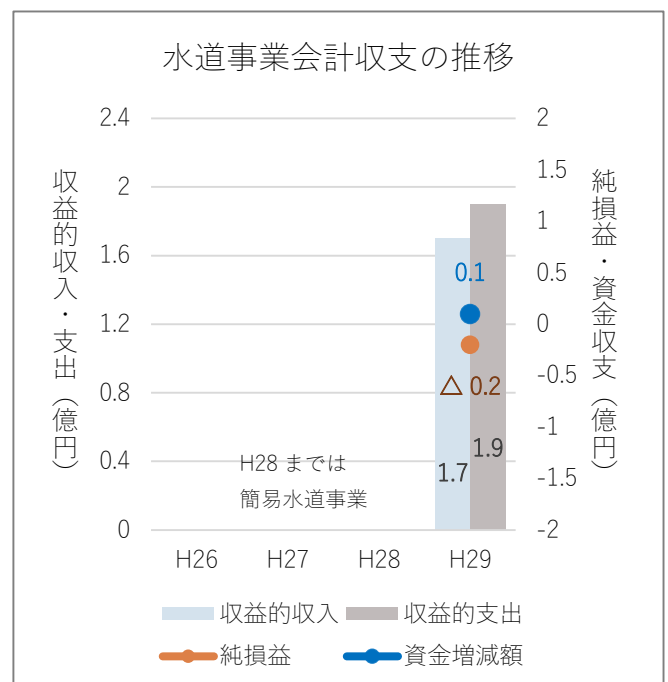
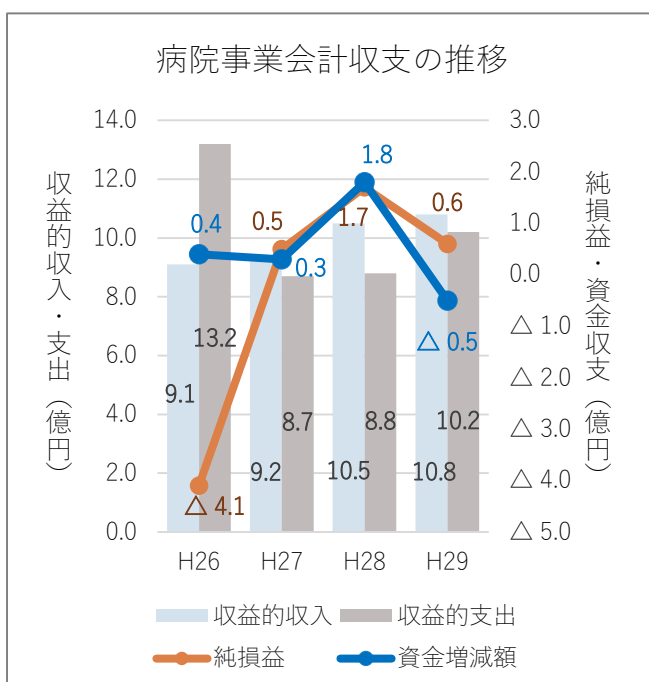
水道事業会計は、簡易水道事業の統合により平成 29 年度会計から企業会計に移行しました。統合後初決算となる平成 29 年度決算では、総収益 1 億 6,427 万円に対し、総費用が 1 億 8,707 万円となり、純損失 2,280 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	収益	費用	収益	費用
収益的収支	医業収益	5億8,832万円	営業収益	1億1,364万円
	医業外収益	2億8,987万円	営業外収益	5,063万円
	医業費用	9億1,821万円	営業費用	1億6,921万円
	医業外費用	1,186万円	営業外費用	1,786万円
	特別利益	1億9,564万円	特別利益	—
	特別損失	8,672万円	特別損失	—
	純損益	5,704万円	純損益	△2,280万円
資本的収支	資本的収入	17億120万円	資本的収入	4億3,589万円
	資本的支出	17億1,614万円	資本的支出	4億3,602万円
	差引収支	△1,494万円	差引収支	△13万円
資金収支	資金増減額	△5,045万円	資金増減額	1,238万円

※ 「収益的収支」は、事業年度の経営活動に伴って発生する収益と費用を経理したもので、「資本的収支」は、建物や施設の建設などの費用を経理したものです。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

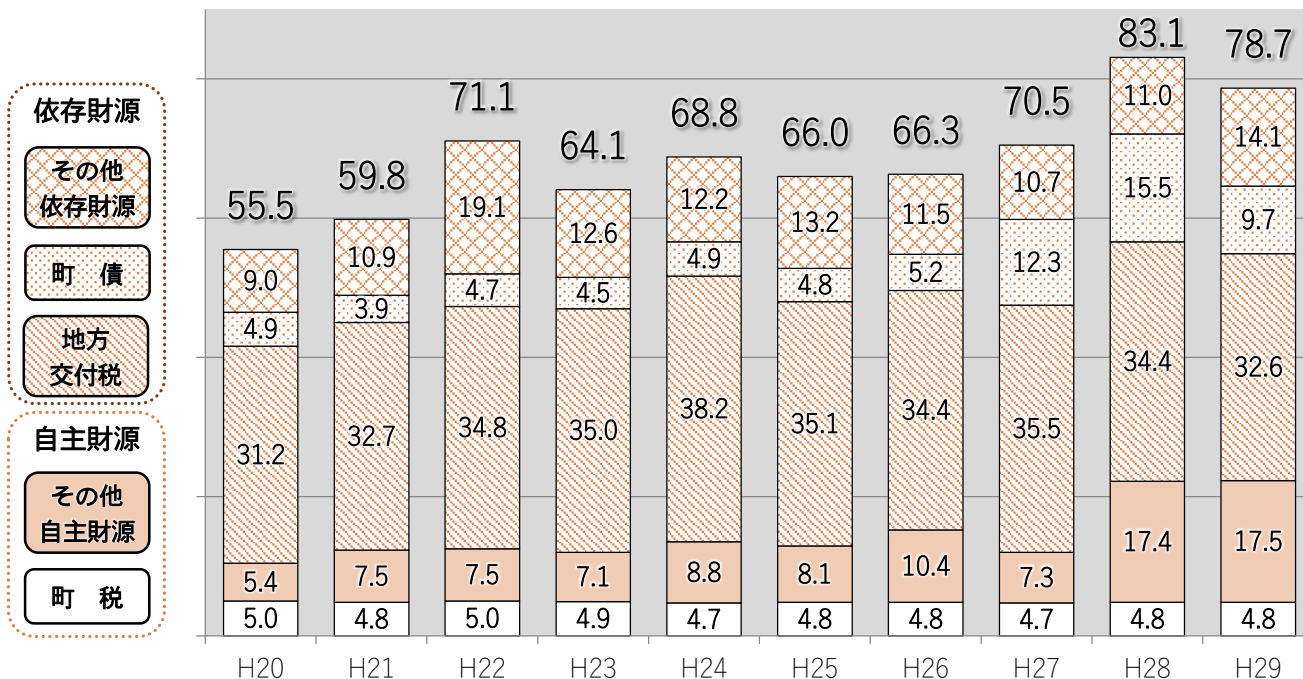


■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成 29 年度の町の一般会計決算額は、歳入が 78 億 7,204 万円（前年度比 4 億 3,518 万円、5.2%の減）、歳出が 72 億 3,176 万円（前年度比 1 億 81 万円、1.4%の増）となり、歳入歳出差引額は 6 億 4,028 万円（前年度比 5 億 3,599 万円、45.6%の減）の黒字となっています。

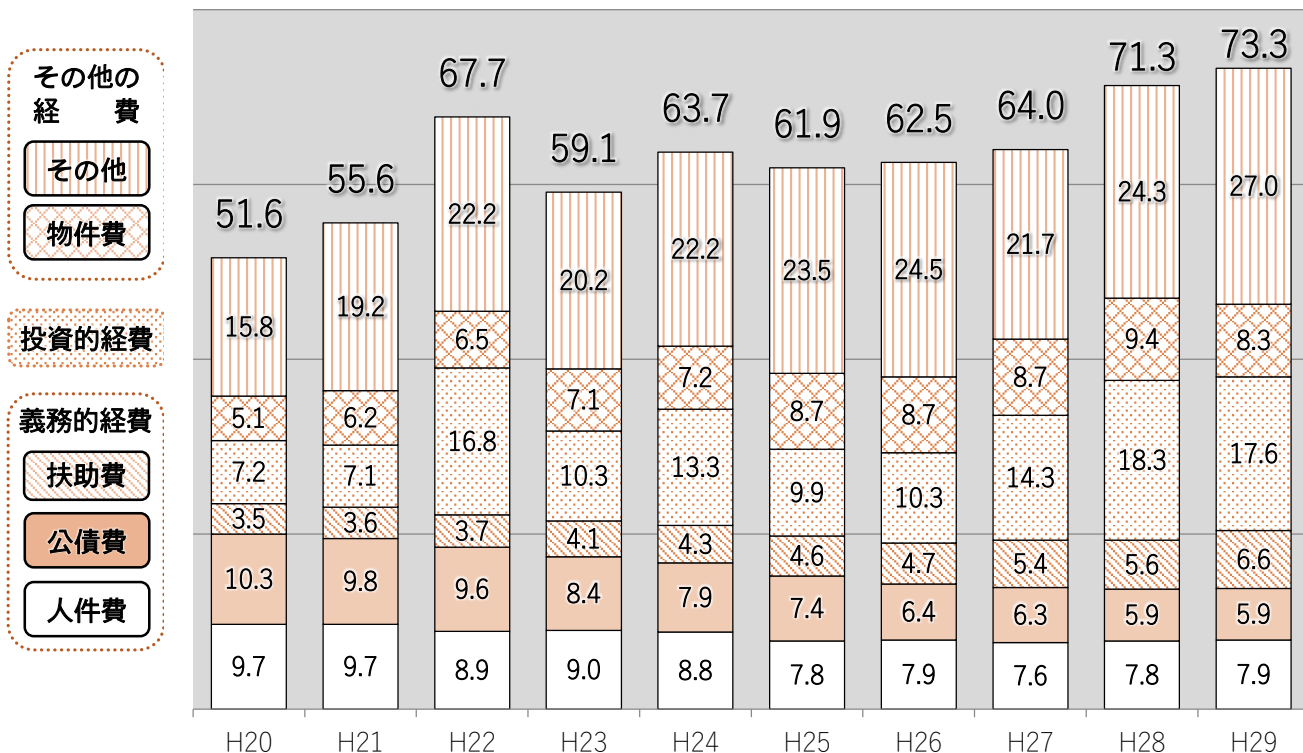
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

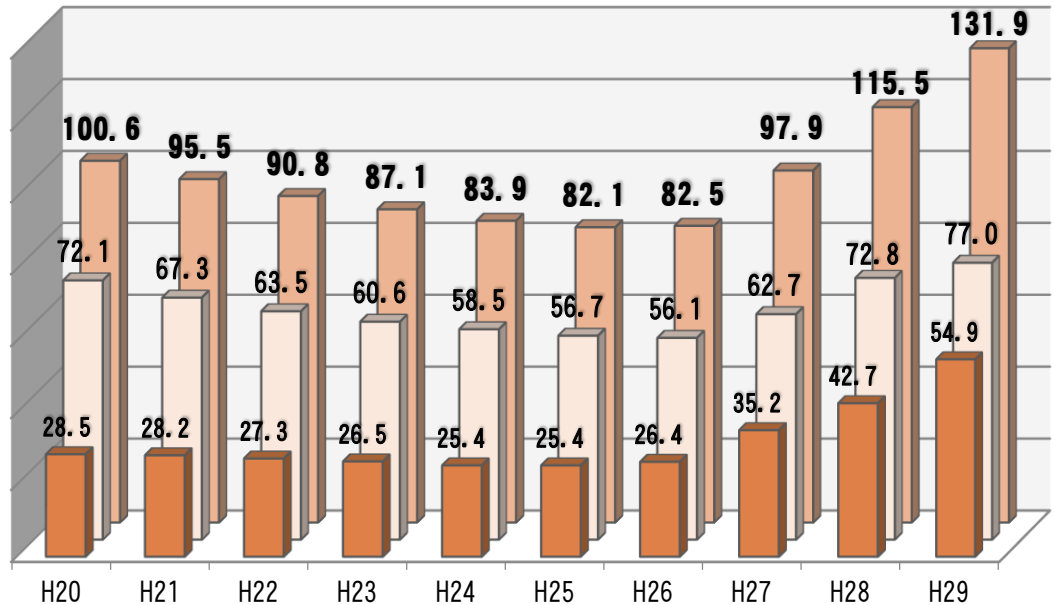
（単位：億円）



町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。一般会計では、養護老人ホーム改築整備事業やグリーンテージ改修事業などにより、特別会計では葛巻病院改築事業や江刈地区水道整備事業などにより増加し、借入残高は平成 28 年度に比べ 16 億 3,544 億円（14.2%）の増となっています。

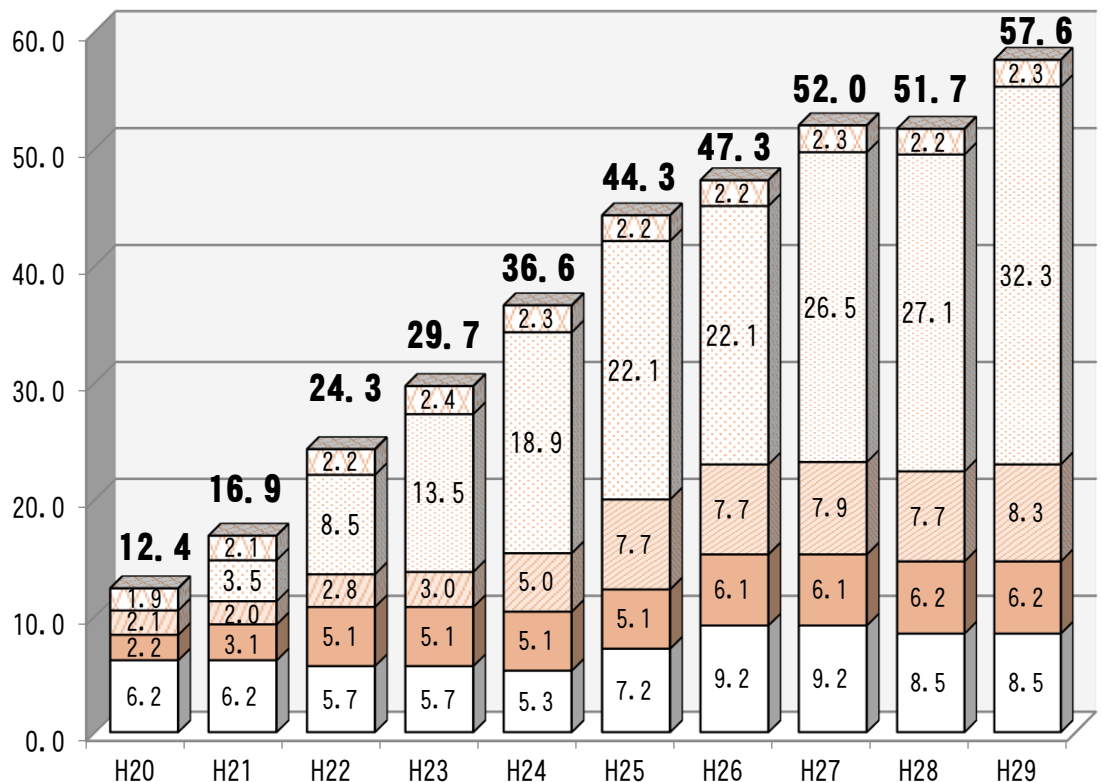
（単位：億円）



基金残高の推移

町の貯金である基金の平成 29 年度末の残高総額は 57 億 5,721 万円で、前年度に比較して 5 億 6,037 万円（10.8%）の増となりました。積み立てた基金は、役場新庁舎建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



■まちの財政の状況

●財政指標

項目	平成 29 年度 決算 A	平成 28 年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	5.4 %	5.0 %	0.4 p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	-	-	350.0 %	
財政力指数	0.15	0.15	-		
経常収支比率	86.0 %	82.2 %	3.8 p t		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成 29 年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成 29 年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

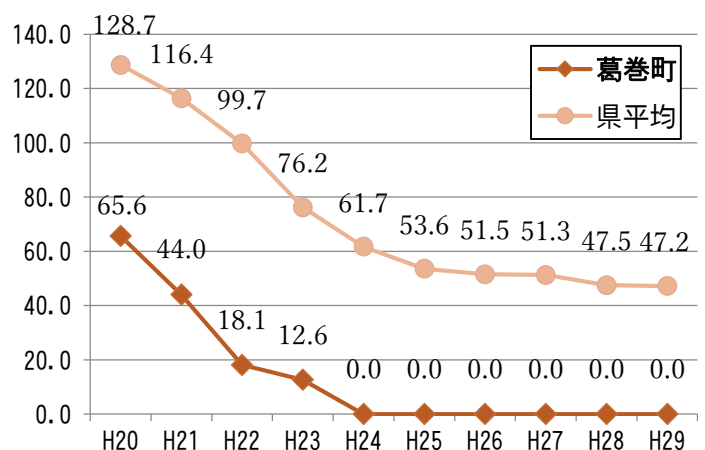
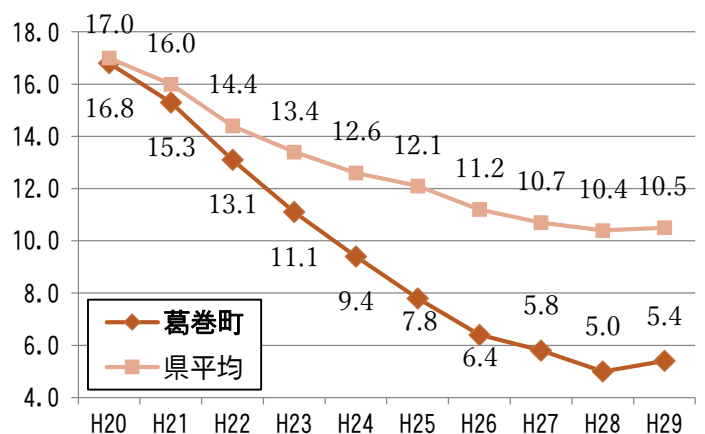
借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は 25% ですが、18% を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

町の平成 29 年度における実質公債費比率は 5.4% で、前年度と比較して 0.4 ポイント上昇しています。

■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成 29 年度における将来負担比率は前年度に引き続き、比率なし (0.0%) となりました。



■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の平成29年度の財政力指数は0.15で、前年度と同値となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

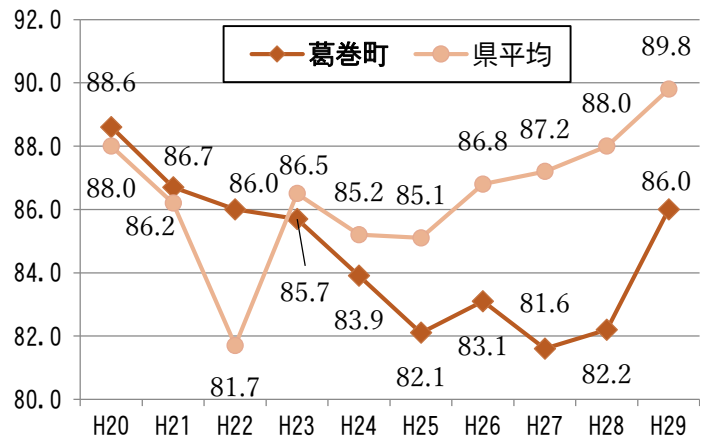
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

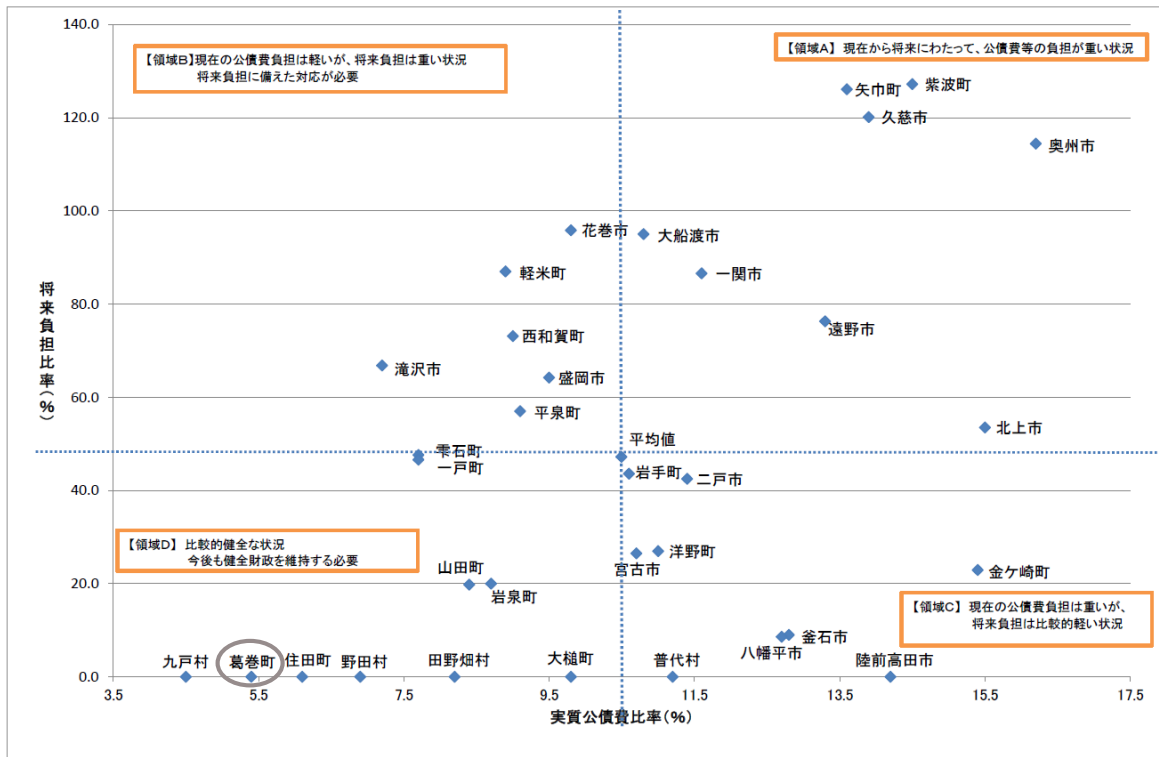
町の平成29年度の経常収支比率は86.0%で、前年度と比較して3.8ポイント上昇しています。



●平成29年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成29年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成29年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	6,026	5,972	54	54
盛岡北部行政事務組合	6,979	6,867	112	112
岩手県市町村総合事務組合	11,295	10,917	378	378
岩手県自治会館管理組合	55	51	4	4
岩手県後期高齢者医療広域連合	161,303	157,420	3,883	3,883

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
（一社）葛巻町畜産開発公社	▲9	392	189	5	246
（株）グリーンテージくずまき	3	35	20	2	-
（株）岩手くずまきワイン	11	266	40	1	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所（株）	7	▲163	3	-	-
葛巻町森林組合	3	110	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。